

「沼津市DX推進計画（案）」パブリック・コメントの結果

沼津市DX推進計画（案）について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。
皆様からいただきましたご意見の概要と市の考え方を示します。

- 実施時期：令和7年12月18日（木）から令和8年1月19日（月）
- 閲覧場所：市ホームページ、市役所（ICT推進課・生活安心課）、市内各市民窓口事務所、市立図書館
- 提出者数：2名
- 意見数：6件

沼津市DX推進計画（案）パブリックコメント				
No.	頁	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
1	28	<p>多分これまでも情報セキュリティポリシーなるものがあつたと思います。それにもかかわらず、今年4月に全国ニュースまでになった「複数の市職員による遠隔操作で他人の端末の中身を覗き見る大不祥事」があつたわけだから、28ページの取組内容のところに「不正使用のバトロール」とか「第三者機関による定期的なチェック確認」という趣旨の文言を盛り込んでほしいです。</p> <p>※28ページが一番適切かと判断しましたが、違うページに適切な箇所があれば、そのページでも構いません。</p>	<p>本市において職員による重大な不正事案が発生し、市民の皆様の信頼を大きく損ねたことを深く反省しております。現在は再発防止策として、端末を遠隔操作する際には該当職員の同意がなければ操作できない仕組みを導入済みです。あわせて、管理職による操作ログの毎月定期的な全件確認を徹底するなど、不適切な端末利用を許さない厳格な運用を行っております。</p> <p>ご指摘いただいた監視体制の重要性を踏まえ、P.28の取組内容に、「情報資産の不正利用を防止するため、操作ログの定期的な確認の徹底や監視機能の強化を図り、適正な情報管理を維持します。」との文言を追記いたします。</p>	有
2	18	<p>本資料でも記載がありましたが、利便性を享受するにはデジタルデバイドの課題解決が重要だと考えております。</p> <p>日本は高齢者だけではなく若年層も含めてデジタルリテラシーは先進国でも最下位です。世界の詐欺メールの8割は日本宛に発送されている等デジタルリテラシーの低さによる被害も年々拡大しています。</p> <p>要するに利便性を追求した際に、リテラシーがない状態でデジタル化が加速することで被害が拡大するリスクがあるということです。行政を偽り、マイナンバー等の個人情報の不正取得等の懸念もあり、単なる広報活動では不足を感じております。市民へのリテラシー教育に対する活動が必須です。</p>	<p>ご指摘の通り、デジタル化の利便性を享受する上で、詐欺被害防止や情報セキュリティを含むリテラシー向上は重要であると認識しております。</p> <p>本計画の当該項目は、主に「窓口利用時にける具体的な操作支援やデジタルデバイス解消」に主眼を置いたものであるため、ご指摘の趣旨がより明確に伝わるよう、表題の文言を修正いたします。</p> <p>なお、市民の皆様が安全にデジタルサービスを利用できるよう、本計画の「丁寧で分かりやすい広報」の取組を通じて、リテラシー向上に向けた啓発活動を関係部署と連携して推進してまいります。</p>	有
3	22	<p>目標年間4,000時間の削減となりますが、正規雇用約2人分の削減規模ではありません。</p> <p>年間4,000時間程度であれば、全職員の業務棚卸を行い、不要な業務の削除及び業務の形式知化を進めることで捻出できる削減時間の範囲かと考えます。</p> <p>また、先端技術の導入コスト等（ライセンス、学習にあてる時間等）を考えると逆に非効率的だと感じてまいります。</p>	<p>ご指摘の通り、単なる時間削減のみならず、投資対効果や業務自体の見直しは極めて重要です。</p> <p>年間4,000時間の削減目標は、DX全体の効果ではなく、定型業務を自動化する「RPA」単体での指標であるため、その旨が明確に伝わるよう表現を修正いたします。</p> <p>なお、ご指摘の業務の棚卸による効率化も重要な取組であり、本市としても推進していく考えです。</p>	有
4	25	<p>職階や役割に応じた研修は暗黙知化するリスクがあると考えています。</p> <p>これは個人に応じてスキル習得する分野が異なる為、その人が退職した際のリスクマネジメントや個人に対する業務の継承等のリスクが懸念されます。</p> <p>リスクヘッジは前提として考慮されており、体制や文化構築のマネジメントも合わせて必要だと考えます。</p>	<p>ご指摘の通り、DXが特定職員に依存しノウハウが「暗黙知化」することは、組織運営上のリスクであると認識しています。</p> <p>本計画では、個人のスキル向上に加え、「行政運営の業務効率化」や「デジタル人材の育成」を掲げており、組織全体で知見を共有する文化醸成を目指しています。</p> <p>来年度の人材育成方針の見直しにおいて、マネジメント体制や属人化を防ぐ持続可能な体制づくりに留意してまいります。</p>	無
5	27	<p>近年の動向や問題からセキュリティ強化は必要だと考えます。</p> <p>但し、ネットワークの分離により、複雑化することで端末間のデータ移動が非効率化することがあります。</p> <p>その非効率化を回避する為に、現場レベルで非効率化を避ける為に、本来のセキュリティに反する操作や管理が行われるリスクがあります。職員の教育はもちろんですが、データ等外部への持ち出し禁止等も含めて管理体制が整っている必要があります。</p>	<p>ご指摘の通り、セキュリティ対策が業務の過度な負担となり、現場でルール外の運用が行われることは大きなリスクであると認識しております。</p> <p>本市では、安全性の確保と業務効率の両立を重視し、来年度導入予定のシンククライアントシステム等により、ネットワーク分離環境下でも安全かつ円滑にデータが取り扱える環境を整備します。</p> <p>あわせて、データの持ち出し制限や管理ルールの徹底、継続的な職員研修を実施し、「技術的な仕組み」と「職員の意識向上」の両面から、現場に負担をかけすぎない実効性のある管理体制を構築してまいります。</p>	無
6	30	<p>労働人口不足の解決にはDX化は不可欠だと考えます。</p> <p>中小企業でもAIの活用が始まり、まだ導入初期レベルの段階だと捉えていますが、現場レベルの課題として、革命的な業務効率化に結びついていないケースが実情としてあります。</p> <p>これは中小企業の独創性が強い日本風土の課題でもあり、独創性があるが故の業務再現性の複雑化に起因するものだと考えます。</p> <p>その為、セミナーや講習会単位の内容では解決が難しいと指摘します。</p> <p>現場単位でみると業務の代替ができない為、使われないケースが考えられます。</p> <p>沼津市の各業界ごとのAI人材を育成する為に、職場から人材育成を進めることは重要だと考えますが、そもそものリテラシーが低いことやシステムが複雑化していることもあり、DX化が浸透しないと考えます。</p> <p>最低でも経営者層のリテラシー教育及びAIスキルがない状態では、現場導入は困難かと考えます。</p> <p>OpenAIのBlue Printにも記載がありますが、個人への投資としてリスクリングや次世代教育の拡充が優先だと考えています。</p> <p>また、学習面における新しいツールの教育への導入は、教員の方々の現場負担が増えるリスクもある為、現場にいる教員の方々のニーズに関しては十分に調査をしてから実施してほしいと考えます。</p>	<p>ご指摘の通り、中小企業の業務プロセスは多岐にわたり、一律のデジタル化が困難である点は課題と認識しております。</p> <p>セミナー等の座学形式のみでは限界があるのご意見を踏まえ、今後は関係機関との連携をさらに深め、経営層のリテラシー向上や次世代教育の拡充について、より実効性の高い支援のあり方を研究してまいります。</p> <p>また、教育現場への新たなツール導入にあたっては、教職員の負担増とならないよう、現場のニーズ把握や十分な検証を行った上で、教育の質の向上と現場の負担軽減が両立できるよう対応してまいります。</p>	無